

# 点検のお願い

●安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検を行ってください。

## ■こんな症状はありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コード、プラグに深い傷や変形がある。
- こげくさいにおいがする。
- 電源コードを動かすと通電しないことがある。
- 器具に触れるとピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

- 電源・本体側プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

## ■異常があれば

### ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店か弊社に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

## 保証書

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用ください。

なお、正常なご使用にもかかわらず、万一故障の場合は下記の規定により無償修理させていただきますので、弊社もしくはお買い上げ店にご一報ください。

お買い上げ日	年	月	日	保証期間…お買い上げ日より6ヶ月
お名前	お電話番号( )			-
ご住所 〒				
<p>1. 下記の場合は保証期間中であっても有償修理とさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誤ったご使用方法によって生じた故障</li> <li>・消耗部品等交換</li> <li>・不適当な修理・改造等をなされた場合</li> <li>・火災、地震等天災による故障</li> </ul> <p>2. お買い上げ日・お買い上げ店印が無いもの、文字を勝手に訂正されたものは無効です</p> <p>3. 本保証書の再発行は致しませんので大切に保管願います。</p> <p>4. 本保証書は日本国内でのみ有効です。</p>				お買い上げ店

製品名 真空パック器 DUCKY (ダッキー)

## お客様ご相談窓口



本社 〒456-0051 名古屋市熱田区四番一丁目11番22号  
**TEL 052-671-5191 FAX 052-671-5196**  
 URL: <http://www.asahi-sg.co.jp> E-mail: [info\\_j@asahi-sg.co.jp](mailto:info_j@asahi-sg.co.jp)

### 個人情報のお取り扱いについて

朝日産業株式会社及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認や安全点検活動のために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。



## 真空パック器 (脱気シーラー)



## 取扱説明書

お買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は取り扱いを誤ると思わぬけがを招くおそれがあります。本書をよくお読みいただき正しくお使いいただきますようお願いします。

本書は大切に保管してください。

もくじ	ページ
安全上のご注意	2
こんなことにもご注意ください	4
仕様	4
付属品	4
各部の名称	5
使用できる袋について	5
使い方(吸気+シール)	6
上手な吸気方法	9
使い方(シール)	10
保管方法	11
清掃方法	12
消耗部品の交換	14
故障かな?と思ったら	15
点検のお願い	16
お客さまご相談窓口	16
保証書	16




WEB  
 使い方や清掃方法  
 の動画があります。

# 安全上のご注意 必ずお守りください


この説明書および商品には、安全にお使いいただくために色々な表示をしています。


■表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、下記のように区分しています。


 **警告** 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。

 **注意** 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。


■お守りいただく内容を、下記のように区分しています。

 気をつける必要がある内容です。

 してはいけない「禁止」内容です。

 実行しなければならない「指示」内容です。

## 警告

 本体に水をかけない。本体は水につけない。  
ショート・感電の原因になります。

シールヒーター部のテフロンテープをはがして使用しない。  
やけど、火災、感電の原因になります。


子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。  
やけど・けが・感電するおそれがあります。

異常時は使用しない。  
発煙・異臭・異音などの異常が発生した場合、直ちに使用を停止し、  
電源プラグをコンセントから抜いてください。やけど・感電・火災の危険があります。


本製品を落としたり、強い衝撃を与えない。  
破損し、感電・火災の原因になります。


濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
ショート・感電の原因になります。

シール部に金属製の物を差し込まない。  
感電する恐れがあります。

 純正部品以外の使用はしない。  
火災や故障の原因になります。

修理技術者以外は、分解・修理・改造しない。  
発火したり異常動作でけがをすることがあります。  
修理する際は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。


 消耗部品の交換やお手入れは、電源プラグを抜いてから行う。  
また、電源プラグは濡れた手で抜き差ししない。  
やけど・けが・感電をすることがあります。

 電源は、100V専用コンセントを使用する。  
100V以外での使用は、感電・発火の原因になります。

コンセントは専用で使う。(容量 6 A以上)  
タコ足配線は過熱・発火の原因になります。

電源プラグに付いたほこりは、よくふき取る。  
火災の原因になります。

## 注意

 吸気・密封以外の用途に使用しない。  
不適正な使用は、感電・ショート・発火の原因になります。

次のような環境では絶対に使用しない。  
※常温ではない場所 ※濡れた場所・湿気の多い場所  
※粉塵の充満している場所 ※振動・衝撃の多い場所  
これらを守らないと故障の原因となるほか、場合によっては感電などの  
重大な事故を招く恐れがあります。

不安定な場所や火気の近くで使わない。  
けがや変形・火災の原因になります。

袋をセットせずに使用しない。  
過熱・火災の原因になります。

集水タンクをつけずに液体を吸気・シールしない。故障の原因になります。  
また、集水タンクをつけずに吸気された液体は本体底部から排出されます。

引火性・可燃性の液体・気体などは吸わせない。  
引火し発火する危険性があります。

吸気・密封による保存品の品質を過信しない。  
包装品・保存期間・方法などの条件により、変質・腐敗など原因になります。


電源コードを持って電源プラグを抜かない。  
コードの傷み・感電・ショート・発火の原因になります。

傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わない。  
感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードに無理な力がかかる、重いものに乗せる、変形させる、  
たばねるなどしない。  
電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

 トップカバーを押えるとき、トップカバーの下に手や指を入れない。  
トップカバーに指をはさみ、けがややけどをする恐れがあります。

使用直後はヒーター面に触れない。  
やけどをする恐れがあります。

 使用時以外は電源プラグを抜く。  
やけど・感電・漏電火災の原因になります。

# こんなことにもご注意ください



お手入れの際はベンジン、シンナー等で拭かないでください。  
 本体を落としたり、強い衝撃を与えないでください。  
 本体の上に物を載せないでください。

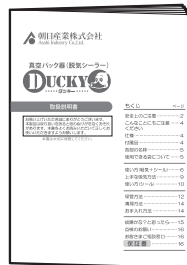


本体を持ち運ぶ際は機械本体の底部をしっかり持ってください。  
 ノズルのお取り扱いには丁寧に行ってください。  
 水分の多い内容物を吸気シールする場合、集水タンク内の水が半分  
 以上になる前に必ず除去してください。  
 粉物や粘度の高い液体(カレー等)をそのまま袋に入れて吸気しない  
 でください。本体内部に入ると、詰まりを起こして故障の原因になりま  
 す。カレー等は一度凍らせて固体にしてから、吸気する方法がおすすめ  
 です。  
 ご使用にならない時は電源プラグをコンセントから抜き  
 吸気ノズルを収納して、トップカバーをロックせずに保管して下さい。  
 シールのみでのご使用は極力お控えください。  
 各部の劣化が早まる危険性があります。

## 仕様

商品名	DUCKY (ダッキー)
電源	AC100V 50Hz / 60Hz
外形寸法	幅345mm 奥行165mm 高さ90mm
重量	2.75 kg
最大消費電力	135W
吸気性能	-75 kPa
シール寸法	260mm×5mm (長さ×巾)
コード長	1.5m
推奨連続使用	吸気シール 1回/分
使用目安	100パック/日

## 付属品



取扱説明書



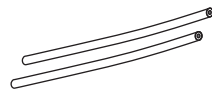
サンプル袋セット



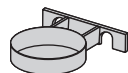
集水タンク



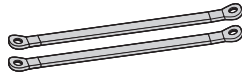
チューブ(短) 1本



チューブ(長) 2本



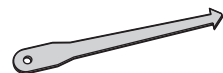
集水タンクホルダー



ヒーター線 2本

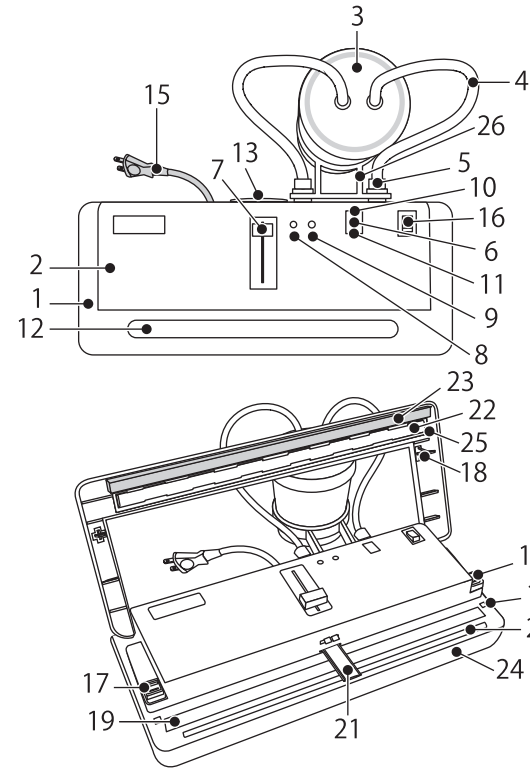


テフロンテープ 2枚



ノズルそうじ棒

## 各部の名称



1. トップカバー
2. 本体カバー
3. 集水タンク
4. チューブ
5. チューブ差込口
6. シールタイマー
7. ノズルレバー
8. シールランプ
9. 吸気ランプ
10. -ボタン:シール時間を短くする
11. +ボタン:シール時間を長くする
12. Seal Bar (シールバー)
13. キャップ (メンテナンス用)
14. リミットスイッチ
15. 電源コード
16. 電源スイッチ
17. ストッパーフック差し込み口
18. ストッパーフック
19. テフロンテープ
20. 密封クッション (茶)
21. 吸気ノズル
22. シールクッション (茶)
23. 密閉クッション (黒)
24. 本体ボトムカバー
25. センサーレバー
26. 集水タンクホルダー

## 使用できる袋について

内容物と目的により、それぞれ最適な袋は異なります。

包装する食品の種類や内容物、また真空包装後に加熱殺菌や冷凍保管する場合など用途に応じた袋の選定が必要です。

真空包装する場合は真空袋をご使用ください。

真空袋は主にナイロンポリ素材が使われており、その他にも、アルミ製のもの等があります。詳しくは空気(酸素)透過度などの袋性能を確認いただき、販売店様へご相談ください。



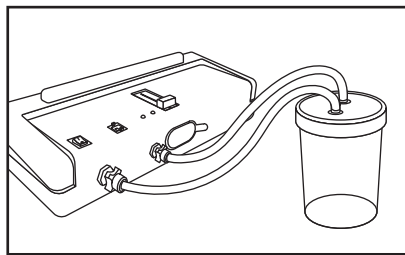
注意

- ・食品を保存するときは、保存期間や食品の種類に応じた使用や袋の選定をしてください。なお、吸気包装による食品の品質を過信して使用することは禁物です。
- ・本機には殺菌作用はありません。
- ・家庭用真空パック器に使用されるような袋の表面に凸凹がある袋は使用できません。
- ・ノズルと集水タンクは常に清潔に保ってください。
- ・不衛生なものの包装に使用することは避けてください。
- ・同一機を食品関係のもの、生活用品・工業用部品の両方に使用することは避けてください。

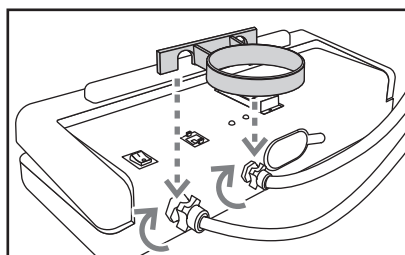
# 使い方 吸気+シール作業

**注意** 粉物や粘度の高い液体(カレー等)をそのまま袋に入れて吸気しないでください。本体内部に入ると、詰まりを起こして故障の原因になります。カレー等は一度凍らせて固体にしてから、吸気する方法がおすすめです。  
水分の多い内容物を吸気シールする場合、集水タンク内の水が半分以上になる前に必ず除去してください。

**1 集水タンクを取り付けます。**  
付属の長いチューブ2本と集水タンクを用意します。  
チューブ2本を使い、本体の背面にあるチューブ差し込み口と集水タンクの蓋にある穴をつなぎます。

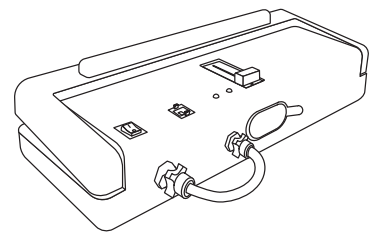


**2 タンクホルダーをセットします。**  
チューブ差し込口に集水タンクホルダーをひっかけ、固定ネジを回して集水タンクホルダーが動かないようにします。  
集水タンクを集水タンクホルダーに載せます。  
※根本の六角ナットは絶対に回さないでください。

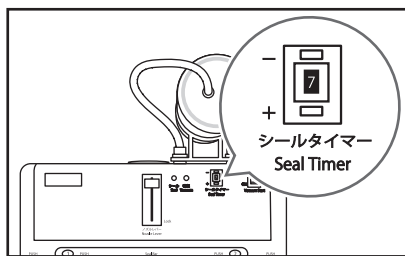


### 乾き物の吸気

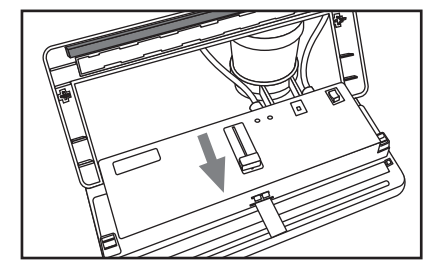
水気の全くないものを吸気する場合は集水タンクをつけず、短いチューブ1本でチューブ差し込み口同士をつなぎ使用することも可能です。  
少しでも水分があるもの(肉のドリップなども含みます)をパックする場合は必ず長いチューブ2本を使い集水タンクを取り付けてください。



**3 シールタイマーをセットします。**  
袋の厚みに合わせて+と-のボタンを押してシールタイマーを調整します。  
※シールタイマー目安  
真空袋(ナイロンポリ)の場合：7

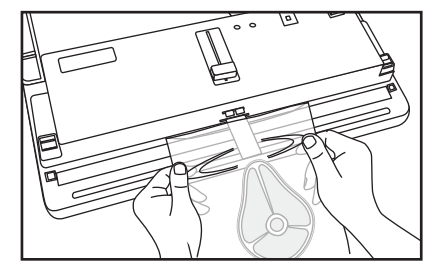


**4 トップカバーを開けてノズルを引き出します。**  
ノズルレバーを手前に動かしてノズルを引き出します。  
※ノズルを引き出す際に、指を挟まないようにご注意ください。



※トップカバーについている黒いスポンジ(密閉クッション)は、緩衝材ではありません。つけたままご使用ください。

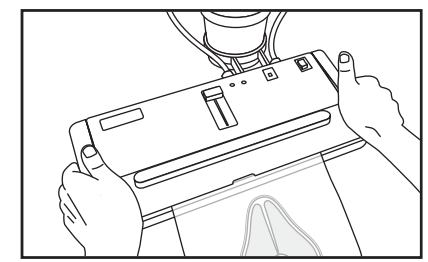
**5 真空袋をセットします。**  
吸気ノズルが袋の中にはいるようにセットし、袋の間口が機械に当たるまで差し込みます。  
※袋のシール面(機械にのってる部分)にシワがよらないようにセットします。



袋に中身を入れる前に・・・

- 袋の大きさに比べて中身が少量、極端に薄い場合、吸気しにくい事があります。
- 袋へ中身を入れる際には、シール部分に液体が付着しないようにご注意ください。
- 食品の中には、野菜類のように呼吸している物があります。その場合、ガスが発生するなどし、真空パック後、袋が膨らむ事があります。

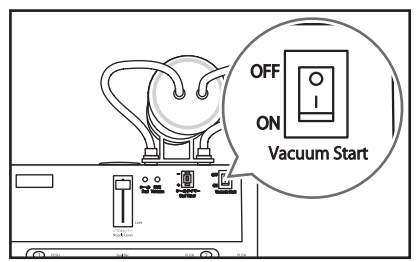
**6 トップカバーをロックします。**  
機械本体の一番外側の左右にあるPUSHの部分を手の前で強く押しこんで、トップカバーをロックします。  
※閉めにくい場合は、片側ずつ体重をかけるように強く押し込んでください。  
※カチッと音がするまで確実に押し込んでください。  
※トップカバーのロックが不十分な場合、十分な吸気ときれいなシールができません。



**POINT** トップカバーが閉めにくい、かたいと感じたら片方ずつ体重をかけるように押し込んでください。

7

**吸気スタート。**  
 トップカバーが浮き上がらず、ロックされていることを確認し、VacuumStartスイッチをONにします。  
 吸気のランプが点滅し、吸気が始まります。



8

**袋の中の空気が抜けたらシールをします。**

**シールの手順**

1. シールバー (Seal bar) のPUSH①とPUSH②を順に少しタイミングをずらして手の平で押さえる

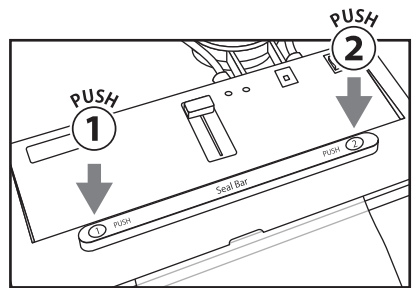
2. そのままシールバーを押さえ続ける

※必ず両手でシールバーを押さえてください。しっかり押さえ続けることで、きれいなシールができます。

3. ゆっくり“ピー...ピー...ピー”と鳴る

4. 速い“ピ-ピ-ピ-...”の音に変わる

5. シール完了。手を放してOK



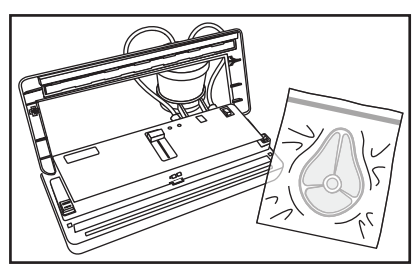
**POINT** PUSH① → PUSH②の順に少しタイミングをずらして押さえる

9

**トップカバーのロックを解除します。**  
 トップカバー両側のPUSHを押し、ロックを解除して袋を取り出します。

**△注意**

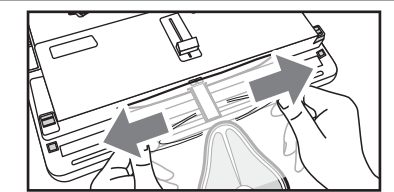
シール直後は、ヒーター線が高温になります。絶対に手を触れないでください。



**POINT** トップカバーのロックがかたいと感じたら片方ずつ体重をかけるように押し込んでください。

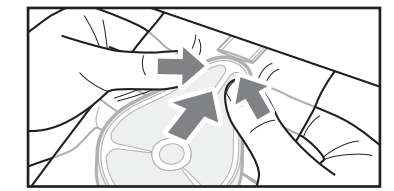
**袋のセット**

トップカバーをロックする前にシワが入らないように袋をのばしておきます。  
 袋のシール部にシワがあると、吸気がうまくできなかったり、完全に密閉されず、シール不良の原因になります。



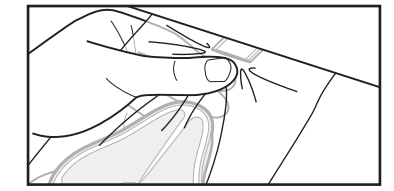
**吸気のコツ① 袋の内容物をノズルに近づける**

トップカバーをロックし、袋を固定します。  
 次に、**内容物を吸気ノズルに近づけた後** Vacuum Startボタンを押して吸気を始めます。  
 吸気ノズルの先端に袋が張り付くことを防ぎ、袋内部の空気を早くきれいに吸い出しやすくなります。



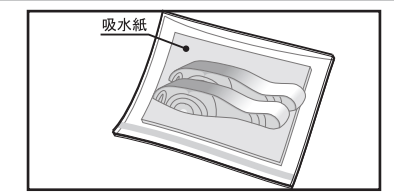
**吸気のコツ② 空気の通り道(シワ)をつくる**

ノズルの先端に袋が密着してうまく吸気できない場合は、**ノズルの先端付近の袋を指でこすり、シワを作ります。**  
 シワが空気の通り道となり、空気が吸い出されやすくなります。



**精肉や鮮魚などの真空パックは...**

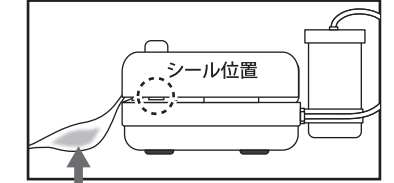
精肉や鮮魚等は、袋に張り付きやすく、空気が抜けにくくなる場合があります。(張り付いた箇所が空気の通り道を遮断してしまうことが原因)  
**ペーパータオル等を袋と内容物の間に敷いて真空パックをするなど、袋と内容物が張り付かないようにすることで、空気が抜けやすくなります。**  
 ※冷凍後の真空パックもきれいにできます。



**液体物の真空パックは...**

- ・液体物を真空パックする際は、必ず集水タンクを取付けてください。
- ・袋をセットする際に液体が袋の外にこぼれないようにご注意ください。
- ・液体を残したい場合は、トップカバーをロックした後に、**袋の高さをシール位置より低く保つ**などして、**ノズルの先に空気が集まるように調整してください。**
- ・吸引された液体は集水タンクに溜まります。液体を残して吸気したい場合は、液体を低い位置に保ちつつ、できる限り空気だけを抜き出してください。

**横からの図**



**袋の高さをシール位置より低く保つ**

**凍らせてから真空パックする**

液体やパンなどのつぶれやすい物を真空パックする際は、一度凍らせて固体にしてから真空パックすることもできます。

# 使い方 シールのみをする場合



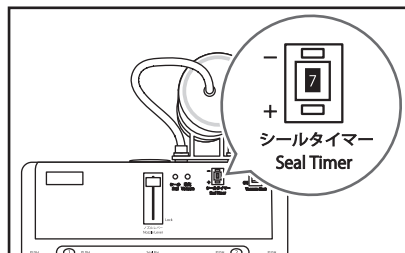
シールのみを使用の場合は、連続使用は5枚程度にしてください。  
それ以上の使用は、故障の原因となります  
ヒーター部付近が高温になるとピピピ・ピピピと音が鳴り機能が停止します。  
しばらくし、機械が冷却するのを待ってから、再度ご使用ください。

1

## シールタイマーをセットします。

袋の厚みに合わせて+と-のボタンを押してシールタイマーを調整します。

※シールタイマー目安  
真空袋(ナイロンポリ)の場合：7

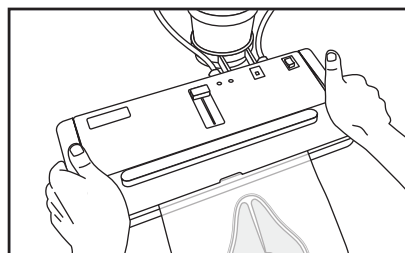


2

## 袋をセットし、トップカバーをロックします。

機械本体の一番外側の左右にあるPUSHの部分を手のひらで強く押しこんで、トップカバーをロックします。

※閉めにくい場合は、片側ずつ体重をかけるように強く押し込んでください。  
※トップカバーは、カチッと音がするまで確実に押し込んでください。  
※トップカバーのロックが不十分な場合、きれいなシールができません。



**POINT** トップカバーが閉めにくい、かたいと感じたら片方ずつ体重をかけるように押し込んでください。

3

## シールします。

### シールの手順

1. シールバー (Seal bar) のPUSH①とPUSH②を順に少しタイミングをずらして手の平で押さえる

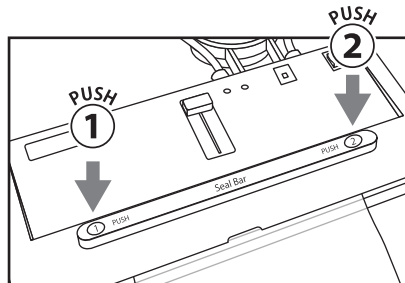
2. そのままシールバーを押さえる

※必ず両手でシールバーを押さえてください。しっかり押さえることで、きれいなシールができます。

3. ゆっくり“ピー...ピー...ピー”と鳴る

4. 速い“ピ-ピ-ピ-...”の音に変わる

5. シール完了。手を放してOK



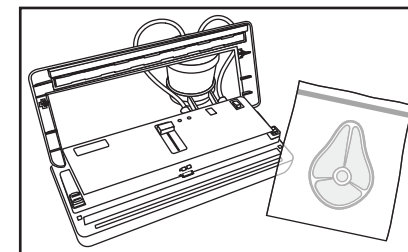
**POINT** PUSH① → PUSH②の順に少しタイミングをずらして押さえる

4

トップカバーのロックを解除します。  
トップカバー両側のPUSHを押し、ロックを解除して袋を取り出します。



シール直後は、ヒーター線が高温になります。  
絶対に手を触れないでください。



**POINT**

トップカバーのロックがかたいと感じたら片方ずつ体重をかけるように押し込んでください。

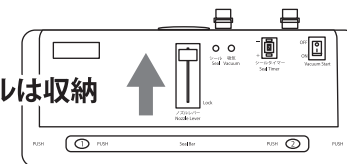
## 使用しないときの保管方法

ご使用にならない時は吸気ノズルを収納した状態にして保管して下さい。

ノズルを引っ張るバネの力が弱くなり、故障の原因になります。  
また、ノズルを出した状態でトップカバーを閉じたままにするとクッションゴムが変形し、シールに不具合が生じます。

※ノズルは、トップカバーを閉じた状態でシールバーを軽く押すと戻ります。

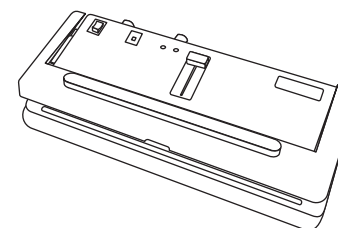
**POINT** ノズルは収納



トップカバーのロックはせずに保管してください。

トップカバーを閉じて大丈夫ですが、ロックはしないでください。

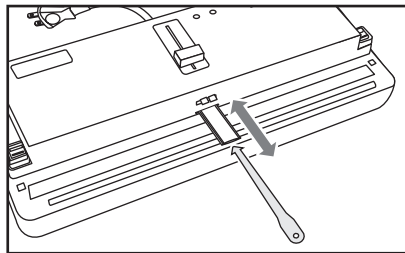
**POINT** トップカバーのロックはしない



# 清掃方法 ●ご使用後は必ず清掃を行ってください。

## ノズルの清掃

ノズルが詰まると、吸引力が弱くなったり吸引しなくなる場合があります。  
付属品のノズル清掃器具で吸気ノズル内の汚れを取り除いてください。  
ノズル清掃器具を抜き差しして、ノズル内部の汚れをかき出します。

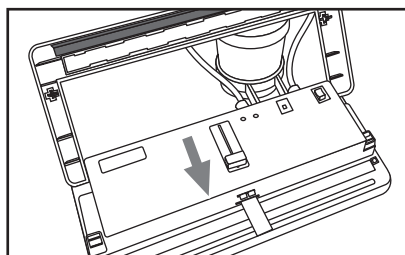


ぬるま湯での洗浄 ぬるま湯(50℃以下)を吸気することで内部を洗浄することができます

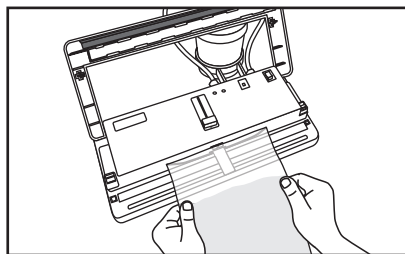
**警告** 洗浄時、本体にぬるま湯がかからないようにしてください。  
**注意** 集水タンク内の水位が半分を越える前に、必ず排水してください。  
故障の原因になります。また、本体に入った水は本体底部より排出されます。

**1** 集水タンクをセットします。(P.6 参照)

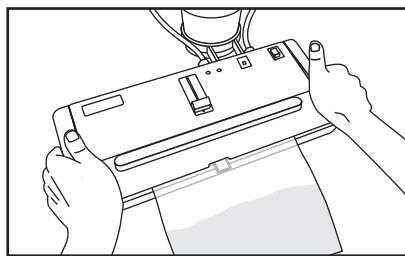
**2** トップカバーを開けてノズルを引き出します。  
ノズルレバーを手前に動かしてノズルを引き出します。  
※ノズルを引き出す際に、指を挟まないようにご注意ください。



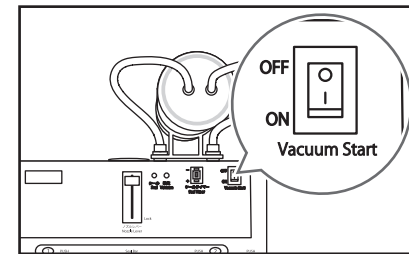
**3** 袋にぬるま湯(50℃以下)約200ccを入れてセットします。  
吸気ノズルが袋の中にはいるようにセットし、袋の間口が機械に当たるまで差し込みます。  
※ぬるま湯をセットする際に、機械本体にかからないように注意してください。



**4** トップカバーをロックします。  
機械本体の一番外側の左右にあるPUSHの部分を手の前で強く押しこんで、トップカバーをロックします。  
※閉めにくい場合は、片側ずつ体重をかけるように強く押し込んでください。  
※カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

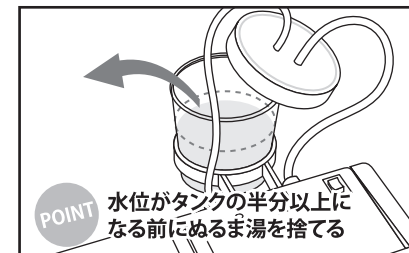


**5** 吸気スタート。  
トップカバーが浮き上がらず、ロックされていることを確認し、VacuumStartスイッチをONにします。  
吸気のランプが点滅し、吸気が始まります。  
※袋を持ち上げると、吸気ノズルからぬるま湯を吸引しやすくなります。



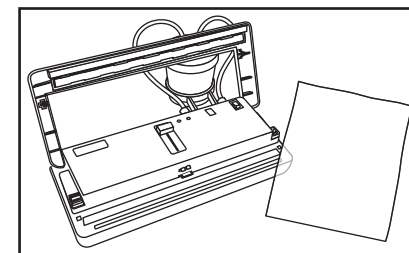
**6** 集水タンク内の水位が半分以上になる前にVacuum startスイッチをオフにし、ぬるま湯を捨てます。

**△注意**  
集水タンクの水位が半分以上になると液体が本体内部に入り、故障の原因になる恐れがあります。ご注意ください。



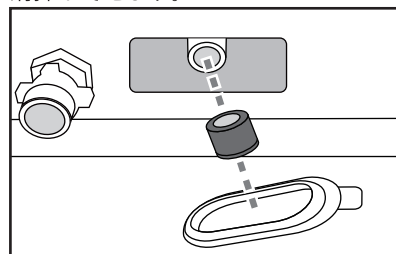
**7** 上記作業を汚れ具合によって数回繰り返し行います。

**8** 吸気ノズルを戻し、トップカバーのロックを解除します。  
シールバー(Seal bar)のPUSH①とPUSH②を順に手の平で軽く押さえるとシールバーが戻ります。次に、トップカバー両側のPUSHを押し、トップカバーのロックを解除して袋を取り出します。

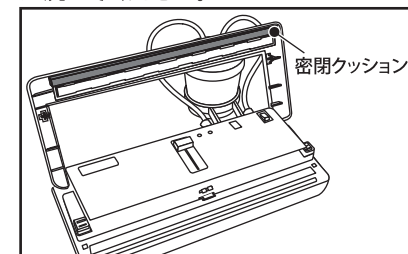


## ゴムキャップ・密閉クッションの清掃

・本体後ろのキャップ(メンテナンス用)とノズルのゴムキャップを取り外して清掃ができます。



・密閉クッションの汚れがひどい場合はトップカバーから外し、お湯等できれいに洗ってください。



# 消耗部品の交換

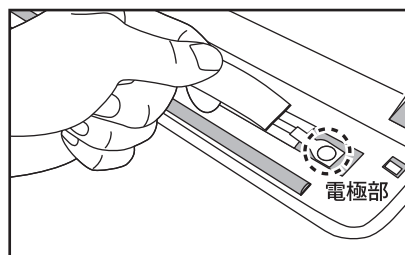
**⚠ 警告** 作業の前に必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

## テフロンテープの交換 傷んではがれてきたら交換します。

古いテフロンテープを剥がし新しいテフロンテープを貼り付けてください。

### ⚠ 注意

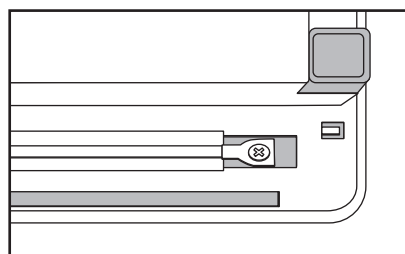
- ・テフロンテープを貼る面に汚れ(油等)が付着している場合は、きれいに取り除いてから貼ってください。
- ・シワができないように貼り付けてください。
- ・電極部が隠れるように貼り付けてください。



## ヒーター線の交換 シールが弱くなったり、断線によりシールしなくなったら交換します。

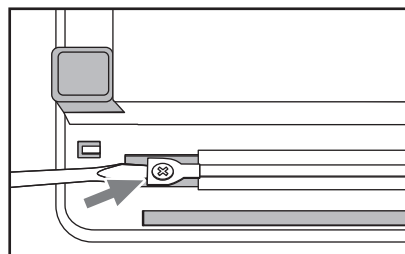
テフロンテープをはがした後、ヒーター線を固定しているネジを外し、新しいヒーター線を取り付けてください。

ヒーター線を固定しているネジは左右にあります。



### POINT

ヒーター線は左右の電極で引っ張っています。取り付けの際は、右図のようにマイナスドライバー等を使い、電極部を内側へ寄せた状態にすると交換がしやすくなります。



# 故障かな?と思ったら ●次のことをお調べください。

## こんなときは

まったく動作しない

## 調べるところ

差込プラグがコンセントから外れていませんか。  
ブレーカーが落ちていませんか。  
電源スイッチは点灯していますか。

## 直しかた

差込プラグをコンセントに差し直してください(AC100V)。  
ブレーカーを通电させてください。  
お買い上げの販売店または弊社へご相談ください。 **P.16**

吸気しない、  
吸気しにくい

バックする中身の量に比べて袋が大きすぎませんか。  
密閉クッションに亀裂は入っていませんか。 **P.5 各部名称**  
テフロンテープにシワや亀裂は入っていませんか。  
集水タンクのふたはきちんと閉まっていますか。  
集水タンクのチューブは、きちんと接続されていますか。  
ノズルやチューブは目詰まりしていませんか。  
ノズルの先端を袋がふさいでいませんか。

適切なサイズの袋に変えるか、袋を切断してください。 **P.5,7**  
新しい密閉クッションを購入し交換してください。  
テフロンテープを交換してください。  
集水タンクのふたを閉め直してください。  
各部のチューブを接続し直してください。  
ノズルやチューブの内部を清掃してください。 **P.12**  
吸気のコツをお試しください。 **P.9**

シールができない、  
シールが不十分である

使用している袋は適切ですか。  
シールクッションが変形していませんか。 **P.5 各部名称**  
テフロンテープにシワや亀裂は入っていませんか。  
ヒーターが断線していませんか。  
シール時間の調節は適切ですか。  
シールバーを両手でしっかりと押さえていますか。  
袋は確実にセットされていますか。

適切な素材・厚さの袋に変えてください。 **P.5**  
新しいシールクッションを購入し交換してください。  
テフロンテープを交換してください。 **P.14**  
ヒーター線を交換してください。 **P.14**  
シールタイマーを適切に設定し直してください。 **P.6**  
正しいシール作業の手順を確認ください。 **P.8**  
袋を適切にセットしてください。 **P.7**

シール部分が溶ける

使用している袋は適切ですか。  
テフロンテープは付いていますか。  
テフロンテープに穴があいていませんか。  
シール時間の調節は適切ですか。

適切な素材・厚さの袋に変えてください。 **P.5**  
テフロンテープを取り付けてください。 **P.14**  
テフロンテープを交換してください。 **P.14**  
シールタイマーを適切に設定し直してください。 **P.6**